



## 2025年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年11月8日

上場会社名 株式会社ユビテック 上場取引所 東  
コード番号 6662 URL <https://www.ubiteq.co.jp/>  
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大内 雅雄  
問合せ先責任者(役職名) 管理統括部部長 (氏名) 江面 祥行 TEL 03-5447-6731  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年6月期第1四半期の連結業績(2024年7月1日~2024年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期第1四半期	254	50.1	△75	—	△75	—	△76	—
2024年6月期第1四半期	169	△1.0	△104	—	△103	—	△105	—

(注) 包括利益 2025年6月期第1四半期 △77百万円(—%) 2024年6月期第1四半期 △105百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年6月期第1四半期	△5.17	—
2024年6月期第1四半期	△7.12	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年6月期第1四半期	2,236	1,932	84.9
2024年6月期	2,363	2,008	83.6

(参考) 自己資本 2025年6月期第1四半期 1,899百万円 2024年6月期 1,976百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年6月期	—	—	—	—	—
2025年6月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無  
2. 2025年6月期の期末配当予想については、現時点では未定であります。

### 3. 2025年6月期の連結業績予想(2024年7月1日~2025年6月30日)

2025年6月期の業績予想につきましては、現時点で合理的に算定することが困難であることから、未定といたします。今後、業績予想の算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。※詳細は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年6月期1Q	14,791,600株	2024年6月期	14,791,600株
2025年6月期1Q	—株	2024年6月期	—株
2025年6月期1Q	14,791,600株	2024年6月期1Q	14,791,600株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、社会経済活動の正常化が進み、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調で推移した一方で、ウクライナ情勢の長期化や中東地域を巡る地政学的リスクの高まりに加え、円安状態の継続によるエネルギー・原材料価格の高騰や物価上昇などの影響により、景気の先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中で、当社及び連結子会社は2022年6月期を初年度として4カ年の中期経営計画「ユビテック4.0」を推進しております。本中期経営計画では従来から保有するIoTテクノロジーに加え、AI・データ活用をコア技術の柱とした新たなビジネスモデルへの転換を図っており、経営資源を「Work Mate」「D-Drive」「カーシェア関連事業」の3事業に集約し、各サービスの開発、リリース、ブラッシュアップに注力しております。

当第1四半期連結累計期間における主な活動といたしましては、安全見守りサービス「Work Mate」及び安全運転支援サービス「D-Drive」のサービスのブラッシュアップを行うとともに、前連結会計年度から引き続きWEBマーケティングを通じた積極的な広報活動にて、新規顧客の獲得に取り組んでおり、導入実績は着実に増加しております。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は254百万円（前年同四半期比50.1%増加）、営業損失は75百万円（前年同四半期は営業損失104百万円）、経常損失は75百万円（前年同四半期は経常損失103百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は76百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失105百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### IoT事業

IoT事業は、テレマティクス車載機出荷停止による保守売上減少分を「Work Mate」及び「D-Drive」の実績増加がカバーし、売上高は増収、損失幅は前年同期より縮小しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は106百万円（前年同四半期比3.0%増加）、セグメント損失は30百万円（前年同四半期はセグメント損失46百万円）となりました。

#### 製造受託事業

製造受託事業は、前期より取り組んでおります歯科診療向け咬合力計測機器用回路基板の販売が順調に推移しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は98百万円（前年同四半期はセグメント売上高1百万円）、セグメント利益は22百万円（前年同四半期はセグメント損失1百万円）となりました。

#### 開発受託事業

開発受託事業は、子会社のユビテックソリューションズにおいて、保険分野における受託開発案件が減少したことにより売上高は減収となったものの、前連結会計年度から継続して取り組んでいる業務効率化効果により、セグメント利益は前年同四半期と同水準となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は49百万円（前年同四半期比23.7%減少）、セグメント利益は0百万円（前年同四半期はセグメント利益0百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は2,236百万円となり、前連結会計年度末から127百万円減少しております。主な内容としましては、製品が12百万円、原材料及び貯蔵品が9百万円、固定資産が49百万円増加し、現金及び預金が65百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が130百万円減少しております。

### (負債の状況)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は303百万円となり、前連結会計年度末から51百万円減少しております。主な内容としましては、支払手形及び買掛金が40百万円増加し、電子記録債務が53百万円、未払金が34百万円減少しております。

### (純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は1,932百万円となり、前連結会計年度末から76百万円減少しております。主な内容としましては、親会社株主に帰属する四半期純損失76百万円の計上によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社及び連結子会社は中期経営計画として、2025年6月期に連結売上高30億円、連結営業利益3億円の達成を目標に掲げており、これを実現するため、「Work Mate」及び「D-Drive」のさらなる拡販に注力するとともに、オリックスグループとも連携しながら新たなビジネス開発を進めてはいるものの、2025年6月期の連結業績予想につきましては、現時点において信頼性の高い数値を合理的に算出することが困難な状況であることから未定とし、記載しておりません。今後、連結業績予想の算定が可能となった時点で、速やかに開示いたします。

## (4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社及び連結子会社は、継続的な売上高の減少及び前連結会計年度まで4期連続して営業損失を計上し、当第1四半期連結累計期間においても営業損失を計上していることから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在していると認識しております。

このような中、当社及び連結子会社は、2022年6月期を初年度とする4カ年の中期経営計画「ユビテック4.0」を策定して企業理念を再定義し、従来のIoTテクノロジーに加え、AI・データ活用を今後のコア技術の柱とした新たなビジネスモデルへの転換を図ることで、当該重要事象の早期解消を目指しております。

なお、当社及び連結子会社は当第1四半期会計期間末において、現金及び預金1,369百万円を保有しており、財務面における安定性については十分に確保されていると考えていることから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,434,391	1,369,347
受取手形、売掛金及び契約資産	362,463	232,370
電子記録債権	—	465
商品	35,597	32,962
製品	64,714	77,422
仕掛品	613	496
原材料及び貯蔵品	138,837	147,919
その他	52,490	51,024
流動資産合計	2,089,108	1,912,009
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	55,985	55,216
減価償却累計額	△28,984	△29,906
建物及び構築物(純額)	27,001	25,310
工具、器具及び備品	381,195	428,837
減価償却累計額	△262,969	△273,113
工具、器具及び備品(純額)	118,225	155,723
建設仮勘定	189	—
有形固定資産合計	145,417	181,033
無形固定資産		
その他	96,865	110,797
無形固定資産合計	96,865	110,797
投資その他の資産		
その他	32,547	32,440
投資その他の資産合計	32,547	32,440
固定資産合計	274,830	324,270
資産合計	2,363,938	2,236,280

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	66,058	106,225
電子記録債務	156,928	103,397
未払金	62,640	28,017
未払法人税等	9,032	3,188
賞与引当金	872	3,488
その他	54,205	54,500
流動負債合計	349,737	298,818
固定負債		
退職給付に係る負債	5,254	5,082
固定負債合計	5,254	5,082
負債合計	354,992	303,900
純資産の部		
株主資本		
資本金	941,473	941,473
資本剰余金	655,375	655,375
利益剰余金	379,219	302,684
株主資本合計	1,976,068	1,899,533
非支配株主持分	32,878	32,846
純資産合計	2,008,946	1,932,380
負債純資産合計	2,363,938	2,236,280

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年7月1日 至2023年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年7月1日 至2024年9月30日)
売上高	169,260	254,085
売上原価	154,111	202,933
売上総利益	15,149	51,152
販売費及び一般管理費	119,173	127,119
営業損失(△)	△104,024	△75,967
営業外収益		
受取利息	5	59
為替差益	2	76
固定資産売却益	38	—
生命保険配当金	356	309
その他	23	48
営業外収益合計	425	494
営業外費用		
固定資産除却損	0	—
営業外費用合計	0	—
経常損失(△)	△103,598	△75,472
税金等調整前四半期純損失(△)	△103,598	△75,472
法人税、住民税及び事業税	1,554	1,093
法人税等合計	1,554	1,093
四半期純損失(△)	△105,153	△76,566
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	119	△31
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△105,272	△76,534

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)
四半期純損失(△)	△105,153	△76,566
四半期包括利益	△105,153	△76,566
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△105,272	△76,534
非支配株主に係る四半期包括利益	119	△31

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	I o T事業	製造受託事業	開発受託事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	103,190	1,494	64,575	169,260	—	169,260
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	103,190	1,494	64,575	169,260	—	169,260
セグメント利益又は損失 (△)	△46,152	△1,281	205	△47,228	△56,796	△104,024

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△56,796千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△56,796千円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	I o T事業	製造受託事業	開発受託事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	106,314	98,514	49,257	254,085	—	254,085
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	106,314	98,514	49,257	254,085	—	254,085
セグメント利益又は損失 (△)	△30,597	22,761	128	△7,706	△68,260	△75,967

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△68,260千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△68,260千円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	15,280 千円	18,262 千円